

スウェーデン語における「味を表す表現」の収集と分類

1. はじめに

1-1. 研究の目的

本研究では言語と認知、および文化間の関係について様々な言語における「味を表す表現」を通して考察する。

①Sapir-Whorf 仮説に関する検証

仮説 1：食品に対する認知は使用する言語によって大きく影響される。

→ある種の「味表現」が存在するからその種の「おいしさ（まずさ）」を感じる。

例：プリプリ（日本語）/ 탕탕（韓国語）/ நீய்（タイ語）/ mör（スウェーデン語）

②文化と言語をめぐる検証

仮説 2：各言語話者の食に関する意識、普段口にしていない食べ物等は味表現に直接的な影響がある。

③Berlin&Kay(1969)に関連する検証

仮説 3：各言語に存在する「味表現」は、その数がいくつであろうと、それらの焦点となる語（表現）には普遍性がある。また、その発展の順序にも普遍性が認められる。

1-2. 本発表の課題

以上の点を検証すべく本研究ではさまざまな言語における「味を表す表現」を調査する。本発表ではパイロットスタディとして、スウェーデンで行った言語調査結果について報告し今後の課題を示す。

1-3. 本研究における「味」の定義

本研究では「味」を、広義に「食べるという行為に参加する味覚以外の器官で受容される感覚を含む」ものとし、食そのものだけでなく「食をとりまく環境」を含むものとする。つまり、「現実存在する広義の味覚はさまざまな感覚を複合したもの（石毛(1983)p. 22）」と捉える。

→「日本語の味表現」：甘い（味覚系）、コリコリ（食感系）、旬の（情報系）等、全てを含むものとする。

2. 先行研究

2-1. 早川(2006)

テクスチャー表現については早川(2004)(2005)に詳しい分析がある。

2003 年の調査では、日本語のテクスチャーを表わす語彙は中国語の 3 倍にあたる 455 語。なお先行研究において、フランスは 226 語、フィンランドは 71 語であるという指摘がある。テクスチャーを表現する日本語の 70%は擬音・擬態語であり、中でも「粘り」の表現が多い。

本研究ではテクスチャーだけではなく味ことば全体を網羅することを目指す。

2-2. 瀬戸(2003)

日本語の味の表現に関する分類表は、瀬戸(2003)が代表的なものである。ここでは「味表現」を「食味表現」「状況表現」の 2 つに分けた上で、食味表現をさらに「評価表現」と「五感表現」の 2 つに分け、さらに「五感表現」の下位分類には「素材表現」「味覚表現」「共感各表現」の 3 つを設定するなどして、日本語の味表現は計 37 種に分類できるとしている。

2-3. 大橋(2010)

一方、大橋編(2010)では以下のような分類がある。

- ・味覚系表現（味覚で捉えた表現）（69 表現）
- ・食感系表現（触覚で味を捉えた表現）（77 表現）
- ・情報系表現（知識で味を捉えた表現）（74 表現）

以上の計 220 種の味表現をもとに日本人の味表現使用に関して詳細な分析がある。

3. 予備調査の実施

本稿では大橋編(2010)を基に、韓国語およびタイ語について予備調査を行った。その結果、78 種の「食に関するオノマトペ」表現を含む計 221 種の「日本語の味表現」にほぼ対応する形で韓国語にもタイ語においても同種の味表現が存在するという結果を得た。

表 1:（*別紙「資料」参照）

これは限られた数の研究補助者による予備調査に過ぎないが、韓国語とタイ語においてはオノマトペが日本語と同程度に存在する可能性が示唆される。従って、日本語以外の言語におけるオノマトペの使用実態についてもさらなる調査の必要性がある。

4. スウェーデン語における「味の表現」の収集と分類

本研究ではパイロットスタディとしてスウェーデン語母語話者 60 名を対象にアンケート調査を行い、広く味の表現の収集を試みた。

表 2:（*別紙「資料」参照）

リストにある 151 食品のうち、一人 50 食品についてその食品の味を表現するのにどのような味表現が可能であるかを自由に書いてもらった。その結果「634 種」の味表現が得られた。ここではうち上位 20 表現までを挙げる。

表 3:（*別紙「資料」参照）

本発表では、この結果を基に特に次の 3 点に注目してスウェーデン語の味表現について考察する。

1. 瀬戸(2003)の「味ことば分類表」に基づく分類・整理
2. テクスチャー表現（オノマトペ）
3. 共感覚的比喩表現

また各々の食品について、スウェーデン語話者がその食品のどのような特性に注目し表現したかを報告する。

例；「ワイン」：乾いた、甘い、赤い、白い、強い、高価な、良質の、保存可能な、おいしい、こくが

ある、フルーティーな、スパイシーな、花のような、はかない、酸っぱい、流れるような、ぶどうの、美しい、粗い、すがすがしい・・・

以上から日本語の味表現との差異あるいは相違点を明らかにする。

5. 今後の課題

- ・「プリプリ/シコシコ」という表現を持たない言語の話者はプリプリ/シコシコしたおいしさを感じないのだろうか。
- ・色彩語彙と同様、「基本味覚語（表現）」は存在するのか。また含意的階層関についてはどうか。

主要参考文献

石毛直道(1983)「味覚表現語の分析」,『言語生活』382, 筑摩書房, 14-24.

大橋正房他編著(2010)『「おいしい」感覚と言葉』食感の世代, 株式会社 B/M/FT 出版部.

瀬戸賢一 (2003) 「味のことばとことばの味」,『日本言語学会第 127 回大会予稿集』, 日本言語学会. 1-8.

早川文代, 陳舜勝, 王錫昌, 李再貴, 齋藤昌義, 馬場康維, 横山雅仁(2004)「中国語テクスチャ表現の収集と分類」, 日本食品科学工学会誌, **51**, 131-140.

早川文代, 井奥加奈, 阿久澤さゆり, 齋藤昌義, 西成勝好, 山野善正, 神山かおる(2005)「日本語テクスチャー用語の収集」, 食品科学工学会誌, **52**, 337-346.

資料

表 1:日本語と韓国語とタイ語における食感表現（一部）

歯ざわり	パリッと	바삭하게	แปริ๊ยะ (เสียงของปรีทั่วไป) กรุบๆ (เสียงของปรีเวลาเคี้ยวในปาก)
	パリパリ	바삭바삭	แปริ๊ยะ (เสียงของปรีทั่วไป) กรุบๆ (เสียงของปรีเวลาเคี้ยวในปาก)
	カリカリ	와삭와삭	กรุบๆ/กรวบๆ (เวลาเคี้ยวของกรอบในปาก)
	ガリガリ	으득으득	กรุบๆ/กรวบๆ (เวลาเคี้ยวของกรอบในปาก) โกรกกราก (เวลาเคี้ยวไม้)
	ゴツゴツ	복복	หยาบ/ขรุขระ/กระด้าง
	ザクザク	석독석독, 아작아작	ฉับๆ/ฉับฉับ (เวลาฟันหัวกัดกลาด)
	サクサク	사각사각	กรึบๆ (เวลากินพาย/กรอบนอกนุ่มใน)
	ザラザラ	거슬거슬(까칠까칠)	หยาบ/ขรุขระ/กระด้าง
	カラッと	바삭	กรวบๆ (แข็งนอกนุ่มในแต่ไม่เหนียว)
	コリコリ	오독오독	กรึบๆ (เวลาเคี้ยวกระดูกอ่อนในปาก)
	シャリシャリ	아삭아삭, 씹박씹박	กรวบๆ (เวลากินแอปเปิ้ล)
	ジャリジャリ		เป็นผงแป้ง/สาๆ
	シャキシヤキ	아삭아삭, 사각사각	กรวบๆ (เวลากินผัก)
	ポキポキ	뚝뚝, 뚝뚝	บิ๊อก
	プツプツ		หนึบๆ/กรึบๆ (เวลาเคี้ยวสตอเบอร์รี่)

表 2: 「味を表す表現」アンケート用紙 (一部)

drinks	no.1	wine
	no.3	fruit liquor
	no.5	beer
	no.6	thick milk
	no.8	coffee
	no.9	tea
snacks	no.18	chewing gum
:	:	:

表 3: スウェーデン語の味表現 (一部)

出現率順位	味表現	回答数
no. 1	gott (good, おいしい)	82
no. 2	söt (sweet, あまい)	42
no. 3	sött (sweet, あまい)	41
no. 4	varmt (warm, あたたかい)	40
no. 5	nyttigt (healthy, ヘルシー)	37
no. 6	mjuk (soft, やわらかい)	36
no. 7	salt (salty, しおからい)	33
no. 8	starkt (strong, つよい)	28
no. 9	kryddigt (spicy, からい)	25
no. 10	stark (strong, つよい)	24
no. 11	torrt (dry, かわいた)	22
no. 12	knaprig (crunchy, カリカリした)	21
no. 13	sur, syrlig (すっぱい)	21
no. 14	billig (cheap, やすい)	20
no. 15	fett (fat, 脂肪分がおおい)	19
no. 16	dyrt (expensive, oughかな)	18
no. 17	onyttigt (unhealthy, ふけんこうな)	18
no. 18	smaklöst (tasteless, あじのない)	18
no. 19	smakrik (美味)	18
no. 20	beskt (bitter, にがい/しぶい)	16